

3 分野別到達目標の設定

これまで、健康なら21計画の目的が「健康寿命の延長と早世の減少」にあること、そして取り組みの方向性として「健康的生活習慣の獲得」と「健康状態の定期的把握と治療の適切な継続」を述べてきました。

これらの実現を図るために、健康なら21計画では10年後の2010年度までに達成すべき目標を、可能な限り数値目標として設定し、その目標達成に向けた事業を展開し、評価をしていきます。

目標値の設定にあたっては、以下の点を考慮しています。

- 1 目標設定項目を、栄養・食生活、身体活動・運動、休養・こころの健康、歯の健康、たばこ、アルコール、糖尿病、循環器疾患、がんの9項目に整理している。
- 2 目標値は、広範な論議を経て提示された「健康日本21」^{注1}の指標を参考にして、奈良県としての重要な課題を考えながら、実現可能な具体的なものにする。
- 3 可能な限り数値を示した目標とするが、項目によっては数値目標が困難な場合がある。その場合には、「増加」「減少」といった定性的な目標設定とする。

評価は、奈良県の現状^{注2}からの改善度をもとに、以下の点を考慮して行います。

- 1 数値目標は評価指標でもあり、県民自らが健康的な生活習慣を確立するために必要な目標（行動・学習目標）、県民を取り巻く健康的な環境に関する目標（環境目標）、県民の全体的な健康状態の目標（健康目標）の3つの視点から評価します。
- 2 計画の評価は、今後、具体的な評価指標を検討し、健康奈良21推進会議、専門委員会において、毎年、進行管理、評価を行っていきます。

注1 21世紀を迎えるにあたって、厚生省が平成12年に提唱した第3次国民健康づくり対策を「健康日本21」と呼んでいます。その中で、10年後に日本全体として到達すべき数値目標を示すとともに、各地域ではそれぞれの実状を考慮して目標を設定し、その目標の達成に努めるように求めています。

注2 最新の基礎資料を得る目的で平成12年9月に県民健康調査を実施しました。また中間評価年（2005年）最終評価年（2010年）にも同様の調査を行う予定をしています。